

令和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①普通科(クリエイティブスクール)においては、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。</p> <p>②福祉科においては、専門的な知識・技術の習得、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。</p> <p>③わかることが実感できる授業のユニバーサルデザイン化、ICTの積極的な活用、実践的・体験的な学習などを推進する。</p>	<p>①②教育課程における編成および評価のあり方について研究・確認を進め、3年間の教育課程全体が適切に配置されているか検証を進める。</p> <p>③現状の授業のスタイルを折りに触れ、様々な角度から検証し、生徒が理解する喜びを実感できる授業づくりを目指す。定期的に研究協議の場を設け、共通のスタイルの確立に向けて取り組む。</p>	<p>①②両科とも現状の教育課程の授業の進め方や評価基準の設定、評価方法が適正なものかどうか検討を進めていく。</p> <p>③授業見学やみなみハート会議(研究協議)において、教員同士の情報共有や意見交換を積極的に行い、生徒が前向きに授業に取り組めるように工夫する。</p>	<p>①②それぞれの学科の特色に合わせた教育課程の編成、評価基準の策定及び選択科目の設置ができていくか。</p> <p>③実践例の共有や、新たな改善に向けた意見交換を目的とした授業見学やみなみハート会議を実施することができたか。</p> <p>③みなみスタイルが生徒の学習効果を高めることができたか。(授業評価)</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①他者への理解を深め、安全・安心に学べる環境を整えるため、ルール、マナーを大切にす規範意識の醸成を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりが抱える課題を早期に把握し、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)および外部機関と連携した支援を図る。</p>	<p>①理解にもとづく規範意識の育成のため、より生徒との接触の機会を増やして、常に身近な立ち位置で、支援に力点を置いた生活指導をめざす。</p> <p>②学校行事(文化祭・運動行事)等を生徒主体の行事として、さらに充実させる。</p> <p>②コア会議の活用及びSC、SSW等との連携をより深め、支援の必要な生徒に対してよりの確かな手立てが行えるよう取り組む。またそのために情報共有の仕組みをより整える。</p>	<p>①各種当番の意識を職員に対して常に発信し、指導と支援の連携を図る。そのためにグループを横断した打合せ等の機会を設ける。</p> <p>①問題行動の事前予防という観点に基づいた、巡回の意識について職員に徹底を図る。</p> <p>①指導と支援の連携という役割を担った各種当番について、職員の意識向上を図る。</p> <p>②生徒会執行部が積極的に中心となり企画し、教員の助言等を参考にしながら進める体制をさらに整える。</p> <p>②コア会議で扱う案件のうち1回に2～3件、3分程度ずつを目安に支援を念頭に置いて意見交換する試みを始める。情報を1つのファイルに集約し、一覧性を高める。</p>	<p>①より身近な位置で生徒との接触を図り、規範意識の向上に資することができたか。</p> <p>①職員に問題行動の未然予防という意識の向上がはかれたか。</p> <p>①指導と支援の連携を高めることで、効果的な生徒指導ができたか。他グループとの連携が機能的に行えたか。</p> <p>②生徒主体で企画・運営できたか。(事後アンケート等)</p> <p>②コア会議において支援につながる意見交換がなされたか。情報共有の仕組みが整えられたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路希望に応じた適切な支援を充実させる。</p> <p>②SCと連携しながら3年間を見据えた計画的な進路指導の充実を図る。</p>	<p>①生徒・保護者の進路希望を定期的に共有する機会を設け、適切な支援につなげる。</p> <p>②SCと連携してキャリア教育実践プログラムの成熟を図り、生徒の社会的・職業的自立につながる主体的な進路選択を可能にする力を育む。</p>	<p>①キャリアパスポートの作成と各種面談を通して生徒・保護者との共通理解を図り、適切な進路指導支援に努める。</p> <p>②SC、教員、生徒の視点の融合を図り、生徒の将来に有効なプログラムとなるよう成熟を図る。</p>	<p>①生徒・保護者の進路希望を把握し、適切な情報提供と支援ができたか。</p> <p>①進路実績を100%に近づけられたか。</p> <p>②専門学科である福祉科とクリエイティブスクールである普通科の特色を生かした3年間の計画的な進路指導の充実は図れたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の企業や福祉施設と連携した教育活動を推進する。</p> <p>②地域貢献活動やイベント等への参加による開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①本校のキャリア教育に協力いただける地域企業、学校、関係機関との関係の強化と新規開拓に努める。</p> <p>②広報活動を積極的に行うとともに、その内容や方法についても検討・実施し、中学生やその保護者、本校生徒の保護者や地域の方々に学校の教育活動に対してのさらに理解を深める。</p>	<p>①本校のキャリア教育の狙いや活動内容を丁寧に説明し、関係強化と新規開拓を図る。</p> <p>②説明会等の回数や日程を調整し、内容についても本校の特色理解をしやすい形態を模索し、実施する。</p> <p>②ホームページの更新によって学校の特色や教育活動を積極的に伝えていく。</p>	<p>①生徒の主体的な進路選択に繋がるような地域企業や関係機関との連携強化は図れたか。</p> <p>②学校説明会への参加者アンケートが満足いく内容だったか。ホームページを定期的に更新することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安全・安心に学ぶための防災計画策定や施設設備等の点検・整備を進める。</p> <p>②全職員で不祥事を防止する。</p> <p>③職員が学校教育計画を共有するとともに学校運営協議会からの意見を反映していく。</p>	<p>①学校全体で防災の意識を高めていく研修を行う。</p> <p>①全生徒が平等にICT教育を受けられるような環境を整える。</p> <p>②教職員の不祥事防止の意識を向上させる。</p> <p>③働き方改革を意識した学校運営協議会からの意見を教育活動に反映する。</p>	<p>①学校全体で防災の意識を高めるため、防災訓練の他、DIG研修などの防災教育を実施していく。</p> <p>①ICT設備の定期的な設備管理を行う。</p> <p>②不祥事防止会議や不祥事防止研修を行い、意識を高める。</p> <p>③働き方改革を意識した学校運営協議会からの意見を具体化する。</p>	<p>①DIG研修などの防災教育を実施できたか。</p> <p>①ICT設備の定期的な設備管理を行えたか。</p> <p>②不祥事防止会議や不祥事防止研修を定期的に行うことができたか。</p> <p>③働き方改革を意識した学校運営協議会からの意見を具体化できたか。</p>